

ボーリング柱状図

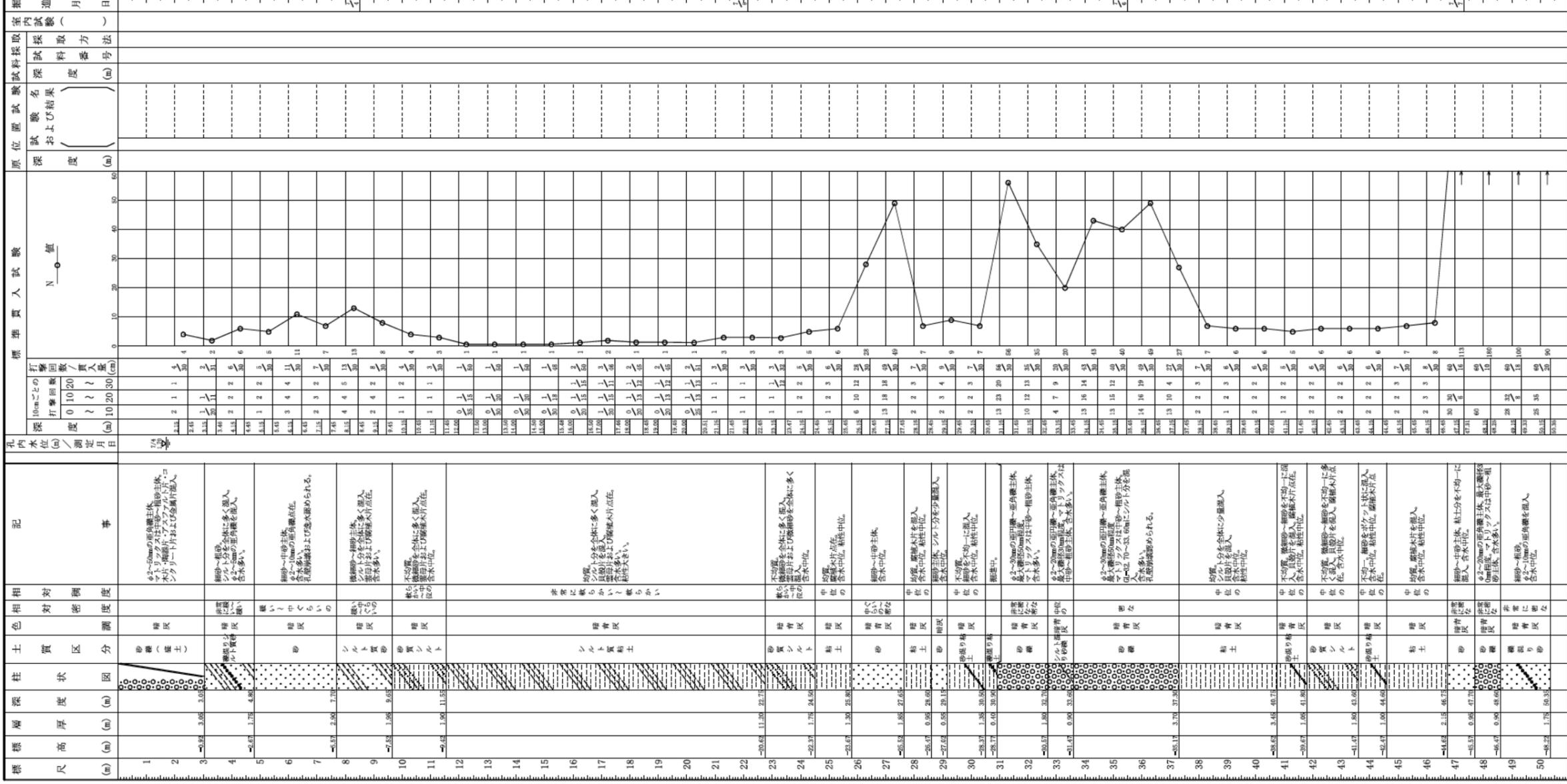
【添付資料-6】土質資料

調査名 海老江下水処理場土質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

ボーリング名	No. 8		調査位置	海老江下水処理場		シートNo	北緯 34° 41' 33.0"	
発注機関	大阪市建設局 下水道河川部 下水道課		調査期間	平成 23年 7月 4日 ~ 23年 7月 8日		東経	135° 27' 44.9"	
調査業者名	関西地質調査事務所 〒570-2790 大阪府東淀川区北加賀町1-1-1		調査代理人	水田 静香		ボーリング責任者	酒井 一彦	
ボーリング機	OP -2.15m		使用機器	ハンマー 落下用具		ハンマー	半自動落下装置	
ボーリング機	50.35m		使用機器	エンジン		ハンマー	NPAD-12	
ボーリング機	50.35m		使用機器	エンジン		ハンマー	SP-8	

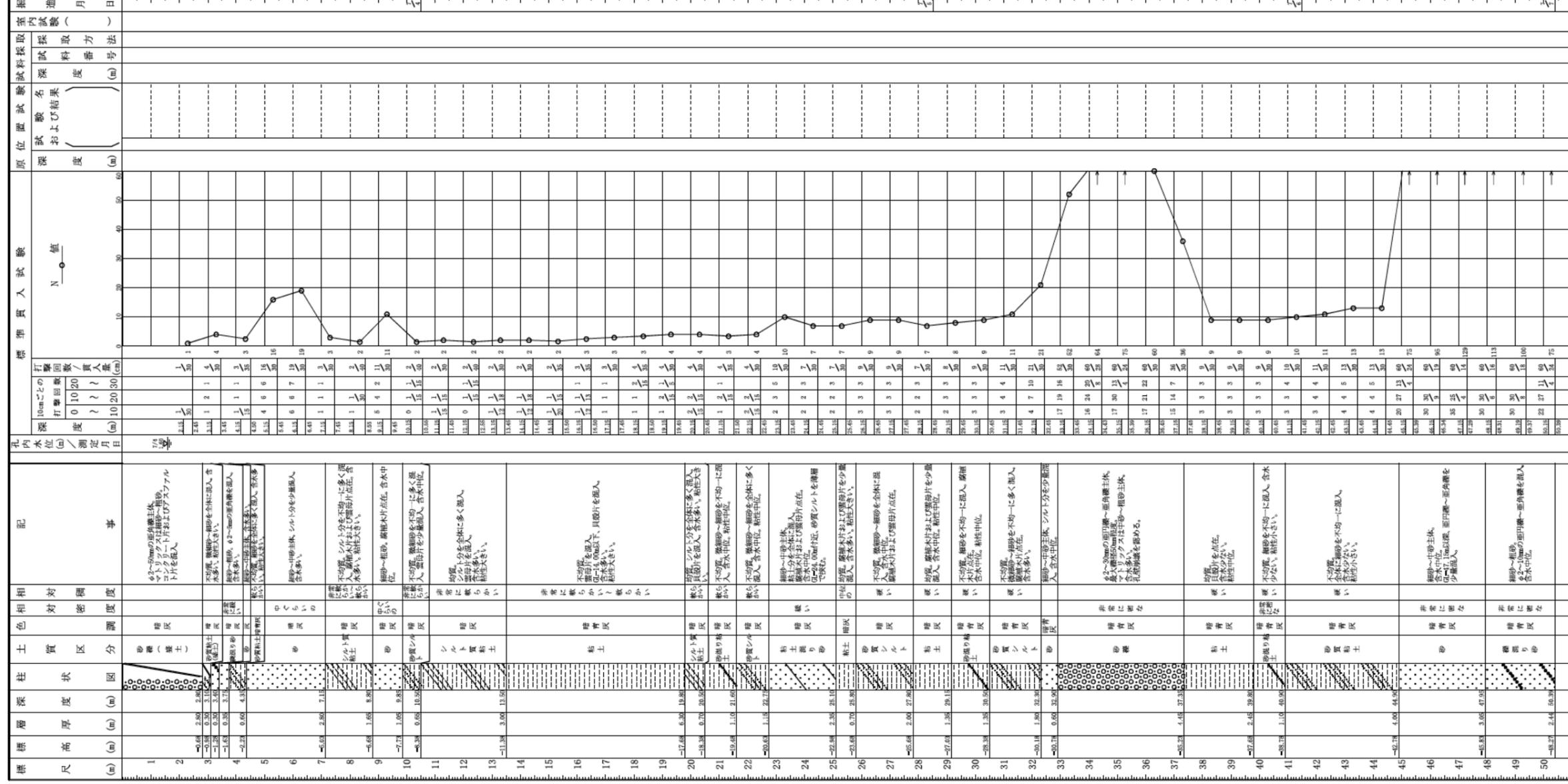


ボーリング柱状図

調査名 海老江下水処理場土質調査業務委託

事業・工事名

Header information table including boring name (No. 1.0), location (海老江下水処理場), dates (調査期間平成23年7月4日～23年7月8日), and personnel (調査責任者 永田 静香).



ボーリング柱状図

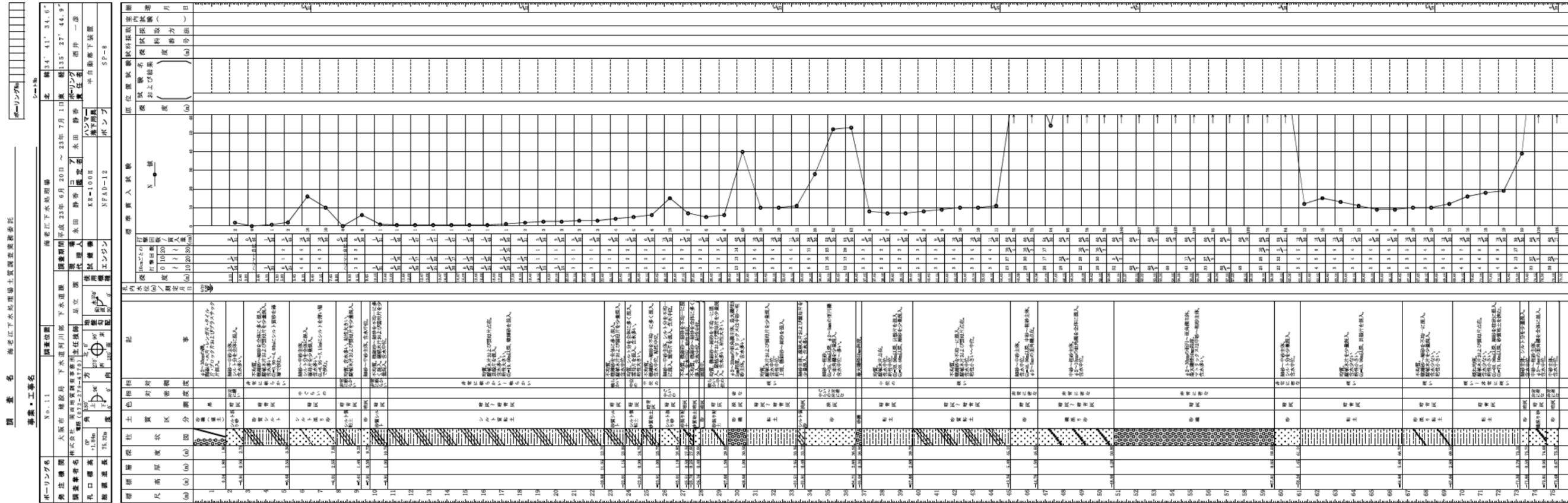


表 4・1.1.1 ボーリング結果一覧表_海老江 No.1

海老江No.1

地層区分	記号	深度(GL-m)	厚厚(m)	地層の特徴
盛土	B	0.00 ~ 4.10	4.10	GL-3.15mまでシルト混じり砂礫、GL-3.15~4.10mまでシルト質砂で構成される。砂は細砂主体である。上部でφ5~30mm、下部でφ20mmの礫を混入する。N値は5で「緩い」相対密度である。
沖積砂質土層	As	4.10 ~ 9.00	4.90	GL-4.10~7.60mまでシルト混じり砂、GL-7.60~9.00mまでシルト質砂で構成される。砂は細砂主体である。上部で所々にシルトが混入し、6m付近で多く含む。下部は全体的にシルトを含有する。N値は8~14で「緩い」~「中ぐらい」相対密度である。
		22.00 ~ 26.15	4.15	沖積粘性土層(Ac)の層中に構成され、GL-22.00~24.15mまでシルト質砂、GL-24.15~24.80mまでシルト混じり砂、GL-24.80~26.15mまで砂で構成される。砂は細~中砂主体である。上部は全体にシルトを含み、下部は均一な砂で構成される。N値は5~36で「緩い」~「中ぐらい」~「密な」相対密度である。
沖積第1粘性土層	Ac1	9.00 ~ 22.00	13.00	全体的にシルト質粘土で構成される。 GL-9.00~12.00m及びGL-20.00~22.00mまでは細砂主体に混入する。 GL-11.00~22.00mまで貝殻片が混入する。 N値は2~6で「軟らかい」~「中位」相対稠度である。
沖積第2粘性土層	Ac2	22.00 ~ 31.10	9.10	全体的にシルト質粘土で構成される。 GL-26.15~28.60mまでは均質な粘性土主体で、有機物が点在する。また、GL-28m付近で火山灰が混入する。 GL-30.00~31.10mで有機物及びφ10mmの礫が混入する。 N値は5~12で「中位」~「硬い」相対稠度である。
沖積礫質土層	Ag	28.60 ~ 30.00	1.40	細中砂主体で構成され、φ10~40mmの礫を混入する。 若干の粘性土を混入する。 N値は13で「緩い」相対密度である。
洪積砂・礫質土層	Dsg1	31.10 ~ 35.70	4.60	GL-31.10~31.70mまで砂、GL-31.70~35.70mまで砂礫で構成される。 上部は細砂、下部は細中砂主体で構成される。 砂礫層はφ20~80mmの垂角~垂円礫を混入する。また、粘性土が塊状で混入する。 N値は32~60以上で「密な」~「非常に密な」相対密度である。
洪積粘性土層	Dc1	35.70 ~ 43.90	8.20	GL-35.70~38.40mまでシルト質粘土、GL-38.40~39.70mまで砂質粘土、GL-39.70~43.90mまで砂質粘土優勢のシルト質砂との互層で構成される。 上部は均質な粘性土主体で、貝殻片が混入する。中部~下部は細砂主体に混入する。 GL-40m付近で黄灰色の火山灰を混入する。また、GL-42m付近で柱状に砂が混入する。 N値は6~16で「中位」~「非常に硬い」相対稠度である。
洪積砂質土層	Ds1	43.90 ~ 50.35	6.45	GL-43.90~46.80mまで砂、GL-46.80~50.35mまで礫混じり砂で構成される。 上部は細砂、下部は細中砂主体で構成される。 砂礫層はφ5~10mmの礫主体に混入し、最大でφ40mmである。 GL-49m以深は礫の混入量が増加する。 N値は37~60以上で「密な」~「非常に密な」相対密度である。

【添付資料-6】土質資料

ボーリング柱状図

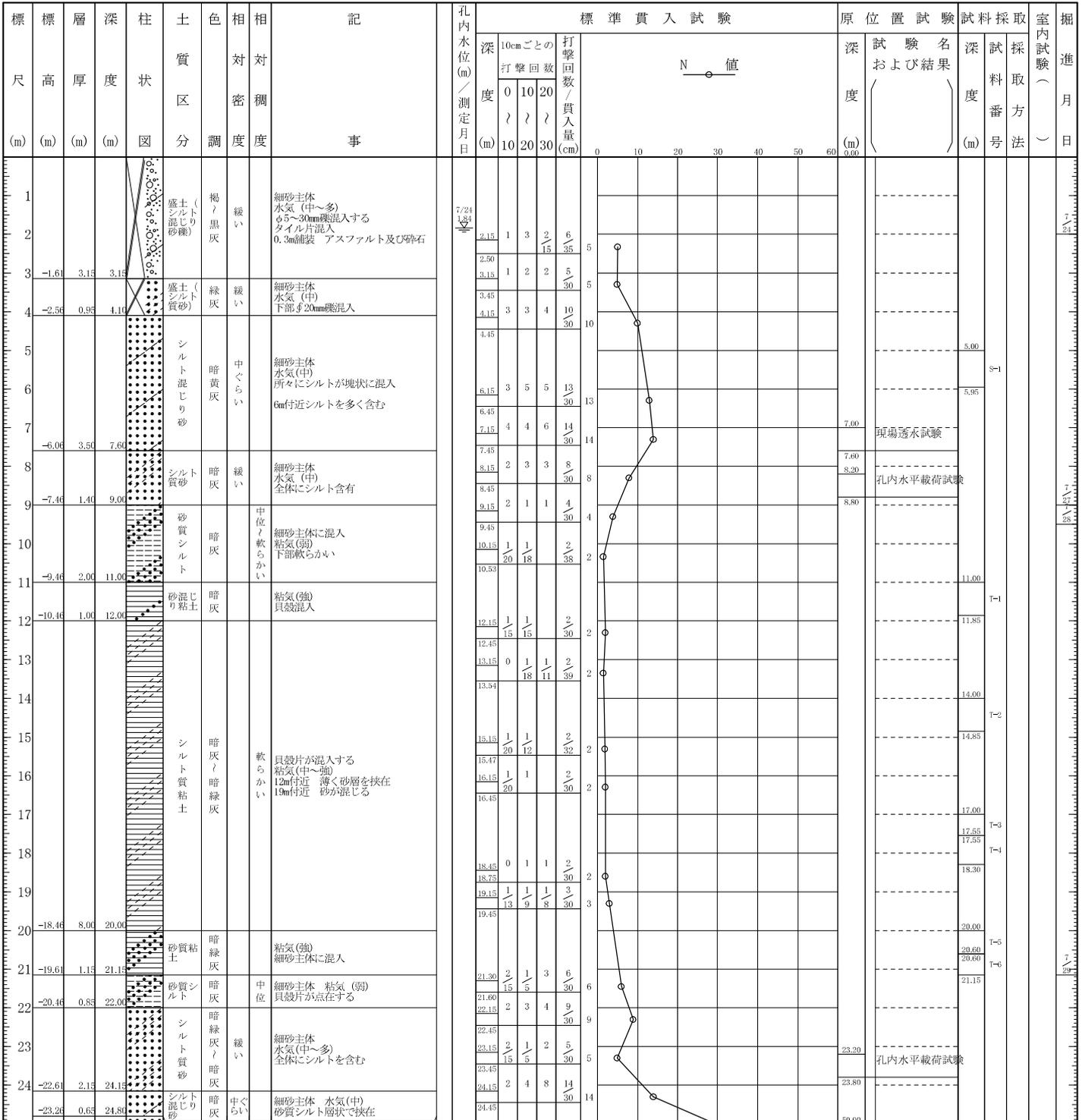
調査名 北部方面管理事務所管内下水処理場土質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	海老江下水処理場 No.1		調査位置	大阪府大阪市福島区大開4丁目1-141			北緯	34° 24' 50.4"			
発注機関	大阪市建設局下水道河川部 下水道課			調査期間	平成 27年 7月 24日 ~ 27年 8月 7日		東経	135° 16' 32.4"			
調査業者名	株式会社 阪神コンサルタンツ 電話(06-6203-3151)		主任技師	成子 浩明		現場代理人	猪子 英司		ボーリング責任者	田代 裕規	
孔口標高	1.54m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試錐機 KR-100Hc	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	50.35m	度	0°	向	0°	エンジン	NFAD-11		ポンプ	V-6	



ボーリング柱状図

調査名 北部方面管理事務所管内下水処理場土質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	海老江下水処理場 No.1		調査位置	大阪府大阪市福島区大開4丁目1-141			北緯	34° 24' 50.4"						
発注機関	大阪市建設局下水道河川部 下水道課			調査期間	平成 27年 7月 24日 ~ 27年 8月 7日			東経	135° 16' 32.4"					
調査業者名	株式会社 阪神コンサルタンツ 電話(06-6208-3151)		主任技師	成子 浩明		現場代理人	猪子 英司		コ鑑定者	猪子 英司		ボーリング責任者	田代 裕規	
孔口標高	1.54m		角	180° 90° 下 0°		方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°		使用機種	KR-100Hc	
総掘進長	50.35m		度	0°		向			エンジン	NFAD-11		ハンマー落下用具	半自動落下	
												ポンプ	V-6	

